

卒業時アンケート結果 2024年度 全4年生対象

ファイル作成日：2025/05/14 学長室グループIR

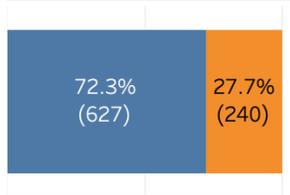
回収数・回収率

アンケート実施期間：2025年1月20日～3月21日

実施方法：Google Form

全学部回収率

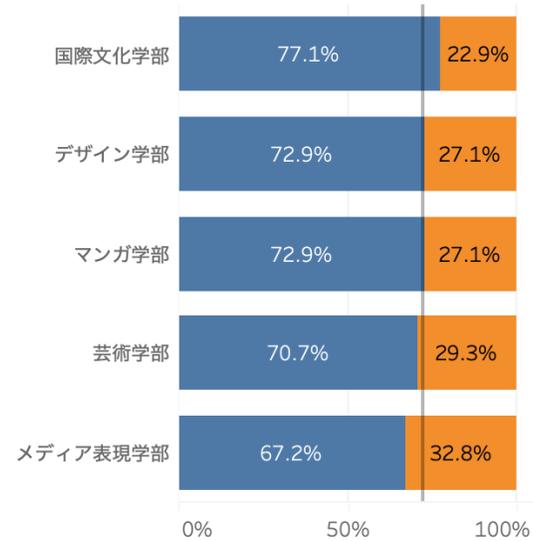
(表示数値：%,(実数))



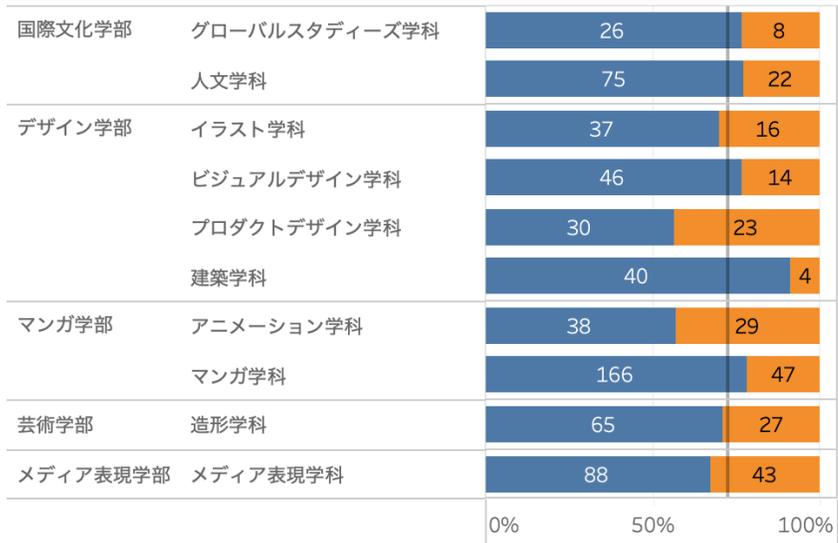
72.3%

前年度の57.1%から15.2ポイントUPと、回収率が大幅に向上しました。

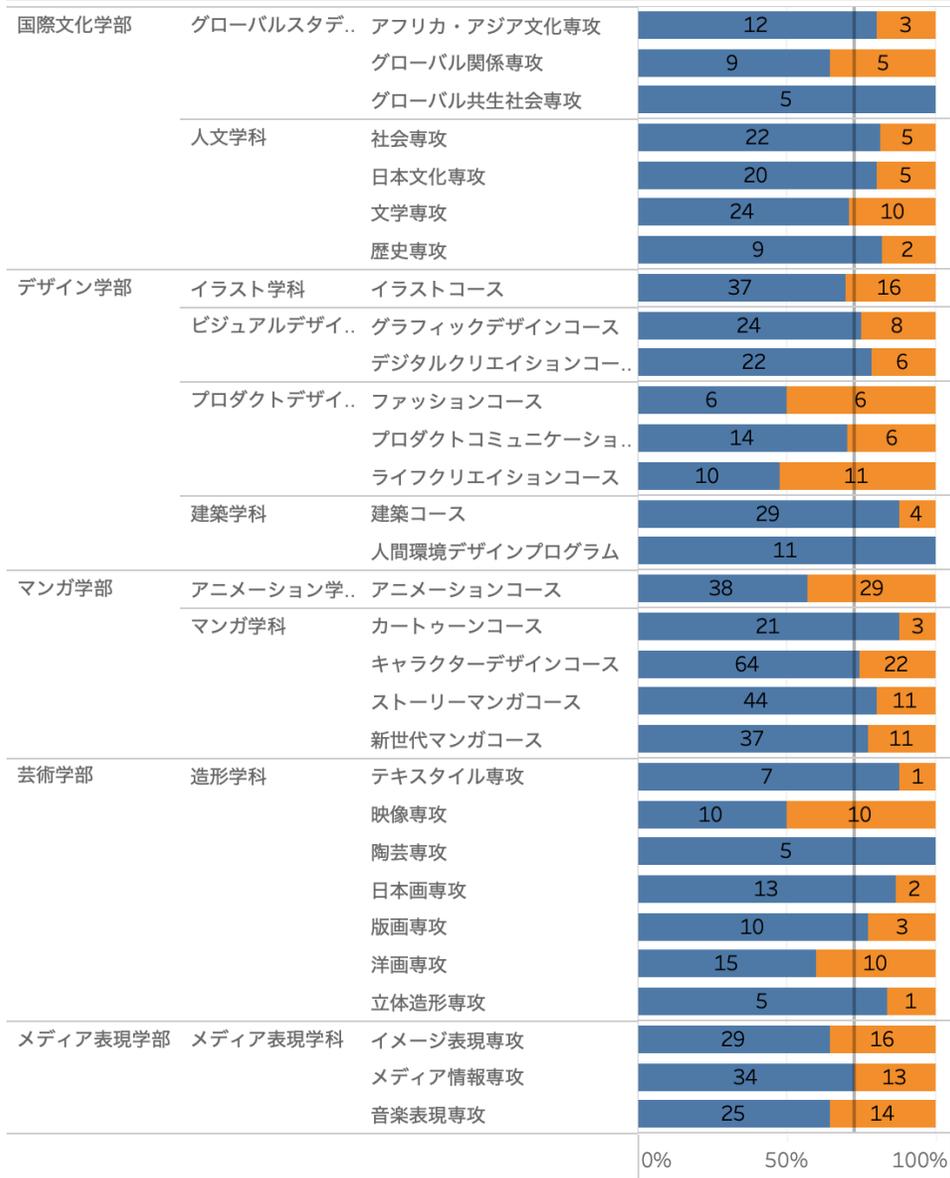
学部別回収率 (表示数値：%)



学科別回収率 (表示数値：実数)



コース専攻別回収率 (表示数値：実数)



最終回答有無

未回答

回答済

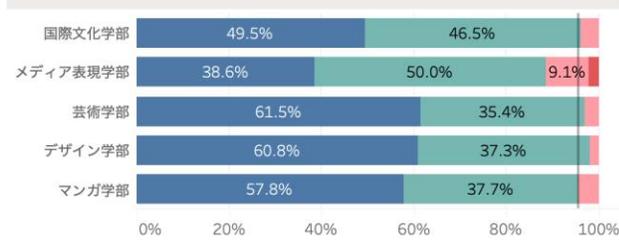
成長実感

※リファレンスラインは、ポジティブ回答（青色、水色）の全学平均値を示す。グレー実線=2024、グレー点線=2023（比較可能な項目のみ）

全体的な成長実感は全学でポジティブ回答95.4%と高い一方で、精神面での自立ができた実感があまりない、全くないと回答した学生が11.1%（前年度12.2%）いる。5つのDPの成長実感は、DP5「社会への関心と行動」98.6%、DP1「知識と理解」96.9%、DP3「技術・研究と表現」96.2%の順で非常に高い実感を得られているが、DP4「他者理解と協働」の成長実感が91.9%とDP間で若干差が見られる。カリキュラムがDPの修得に効果的だったかを問う設問に対して全学でポジティブ回答が91.8%と概ね高いが、学部によって差が見られる。建学理念の実践意欲のポジティブ回答は前年度とほぼ同じ91.3%で、学部によって差が見られる。

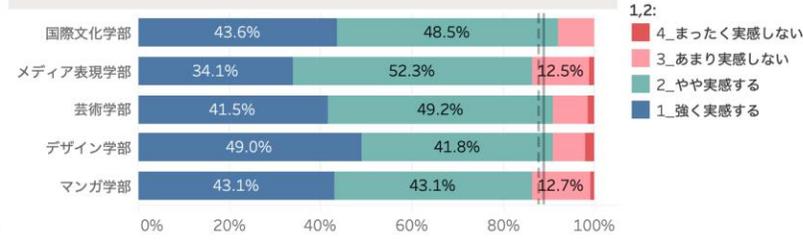
1. 全体成長実感

【Q-1】 本学での授業や活動等大学生活全般を通して、何らかの成長ができたという実感はありますか。



2. 精神的自立実感

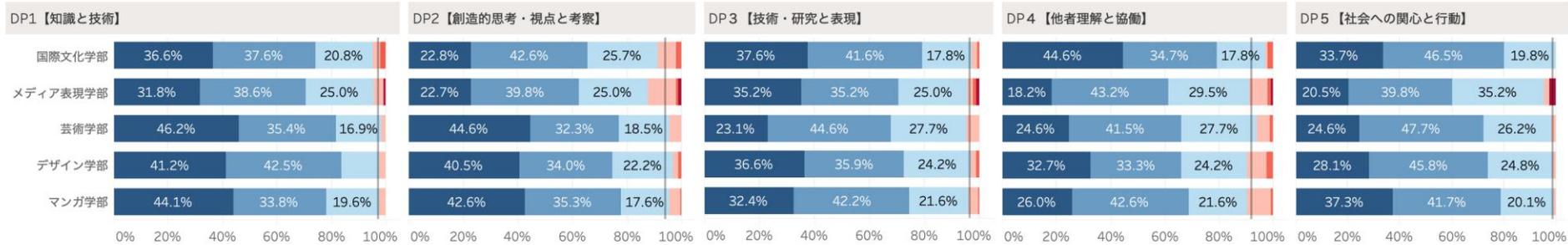
【Q-2】 本学での大学生活全般を通して、精神面での自立ができた実感はありますか。



1,2:
4_まったく実感しない
3_あまり実感しない
2_やや実感する
1_強く実感する

3. DP成長実感

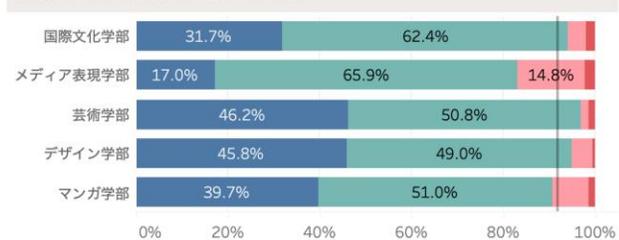
【Q-3】 京都精華大学で育成するとされている以下5つの要素（能力）について、入学時と比較してどれくらい身についた実感はありますか。



3:
6_まったく身につけていない
5_身につけていない
4_あまり身につけていない
3_やや身につけている
2_身につけている
1_大変身している

4. カリキュラム評価

【Q-4】 所属学部のカリキュラム（共通・専門）、教育方法は、上記の力の修得に効果的だったと思いますか。



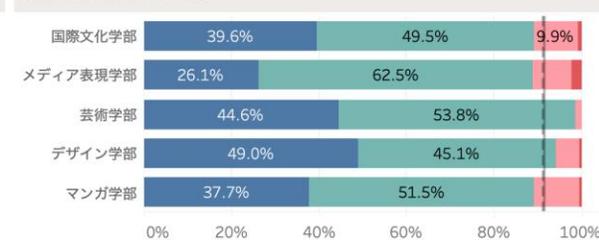
5. 教育成果・改善点についての自由記述

【Q-5】 あなたが受けた専門教育、共通教育を振り返り、成長に効果を感じた点、または改善が必要と感じた点について、具体的に教えてください。

※別シートで集計結果表示

6. 建学理念実践意欲

【Q-6】 「人間尊重」「自由自治」という建学の理念を、社会生活で実践しようと思いますか。



4,6:
4_まったくそう思わない
3_あまりそう思わない
2_どちらかといえばそう思う
1_とてもそう思う

教育成果・改善点についての自由記述

【Q-5】 専門教育・共通教育（教育内容や指導方法、評価、カリキュラム構造など）を振り返り、成長に効果を感じた点、または改善が必要と感じた点について、できるだけ具体的に教えてください。

自由記述に回答した学生の回答のみが対象。成長に効果的だった点（388件）と改善が必要と感じた点（208件）とに分け、内容を分類しラベリング。

1名の回答の中で複数の分類項目に触れている場合はそれぞれに分割してカウントしているため、実数より1割ほど多い件数となっている。

1件のみなど件数が極端に少なく分類が難しい回答は「その他」として本ビジュアルでは非表示としている。

全学で見ると、学生が成長に効果があったと感じたものは「専門知識・技術の学習」が3割と最も多く、次いで「教育の指導・フィードバック」「グループワーク・他者交流の機会」に関する記載が多い。

学生が改善が必要と感じたものは、「カリキュラム・科目内容」が4割、次いで「評価・フィードバック・授業手法」「学期制度」に関する記載が多い。（詳細な自由記述一覧は学内資料で別途共有。）

成長に効果を感じた点（全学）

	件数	割合
総計	388	(100.0%)
専門知識・技術の学習	128	(33.0%)
教員の指導・フィードバック	47	(12.1%)
グループワーク・他者交流の機会	46	(11.9%)
共通教育、幅広い学び	38	(9.8%)
カリキュラム・科目内容	38	(9.8%)
学びの自由度・自主性涵養	24	(6.2%)
実践的な学び・社会とのつながり	16	(4.1%)
展示・発表の機会・学び	12	(3.1%)
留学、フィールドワーク等	12	(3.1%)
論文・文章作成	6	(1.5%)
学期制度	4	(1.0%)

改善が必要と感じた点（全学）

	件数	割合
総計	208	(100.0%)
カリキュラム・科目内容	83	(39.9%)
成績評価・フィードバック・授業手法	27	(13.0%)
学期制度	17	(8.2%)
専門知識・技術の学習	13	(6.3%)
教員の指導・態度等	11	(5.3%)
グループワーク・他者交流の機会	9	(4.3%)
抽選・履修上の課題	9	(4.3%)
共通教育・幅広い学び	5	(2.4%)
学びの自由度	5	(2.4%)
施設・設備・スペース等	5	(2.4%)

成長に効果を感じた点（学部別）

	国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部	マンガ学部
専門知識・技術の学習	16	15	13	36	48
教員の指導・フィードバック	4	3	8	18	14
グループワーク・他者交流の機会	6	11	5	9	15
共通教育、幅広い学び	7	7	5	9	10
カリキュラム・科目内容	4	6	3	7	18
学びの自由度・自主性涵養	5	4	8	5	2
実践的な学び・社会とのつながり		4	1	5	6
展示・発表の機会・学び	2	2	4	2	2
留学、フィールドワーク等	11			1	
論文・文章作成	5	1			
学期制度	1	2	1		

改善が必要と感じた点（学部別）

	国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部	マンガ学部
カリキュラム・科目内容	12	10	4	15	42
成績評価・フィードバック・授業手法	8	4	3	6	6
学期制度	3	7	3	1	3
専門知識・技術の学習	1	2	1	3	6
教員の指導・態度等		2	1	1	7
グループワーク・他者交流の機会	1	1	1	2	4
抽選・履修上の課題	4	1		3	1
共通教育・幅広い学び			2	2	1
学びの自由度	1			2	2
施設・設備・スペース等		1	2	2	

成長への貢献度

*リファレンスラインは、ポジティブ回答（青色、水色）の全学平均値を示す。グレー実線=2024

本ダッシュボードでは「該当しない・わからない」の回答選択肢を除外していない。
項目7-4,7-5は国内学生と留学生とで大きく結果に差が出たためそれぞれに分けて表示。

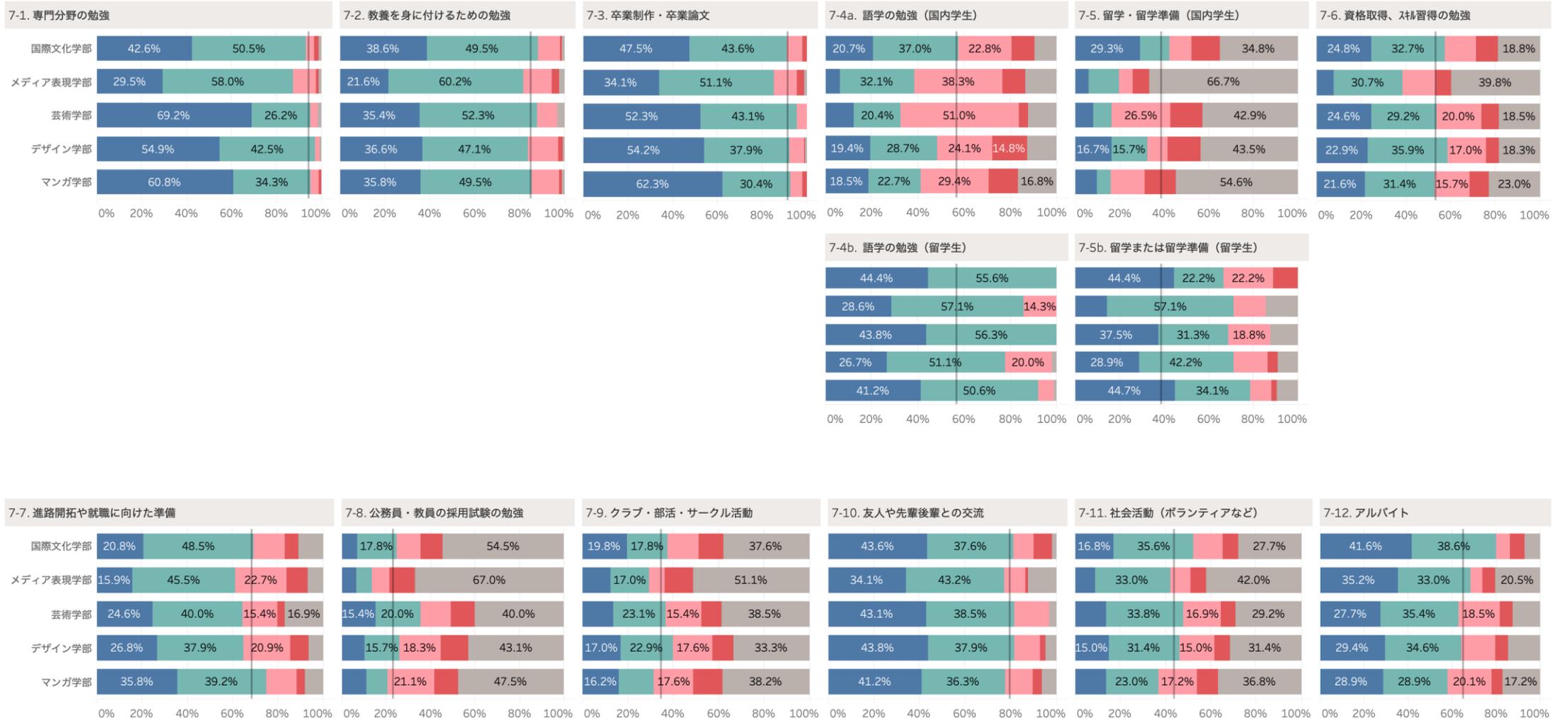
全12項目のうち、7-1専門分野の勉強（94.8%）、7-3卒業制作・論文（91.5%）、7-2教養を身に付けるための勉強（85.1%）、7-10友人や先輩後輩との交流（79.5%）、7-7進路開拓や就職に向けた準備（68.4%）の順で、成長に役立ったと回答した学生の割合が高い。

7. 成長への貢献度

【Q-7】あなたの大学生生活において、以下の各項目はあなたの成長に役立ったと思いますか。

7:

- 1_大変役立った
- 2_ある程度役立った
- 3_あまり役立たなかった
- 4_まったく役立たなかった
- 5_該当しない・わからない



最終満足度

※リファレンスラインは、ポジティブ回答（青色、水色）の全学平均値を示す。グレー実線=2024、グレー点線=2023、オレンジ実線=全国他大学2024（比較可能な項目のみ）

友人との人間関係（89.7%）、教員（88.9%）、カリキュラム（86.1%）の順で満足度が高い。

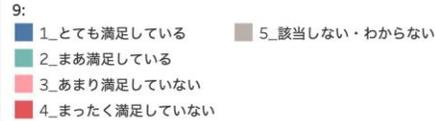
昨年度の同アンケートと比較可能な項目はリファレンスライン点線で前年度平均値を入れており、進路・就職支援（5.7ポイント↑）、友人関係（5.0ポイント↑）、キャンパス環境・学生サービス（2.6ポイント↑）、カリキュラム（1.6ポイント↑）において、昨年度よりも学生満足度の改善が見られる。9-4,9-5は国内学生と留学生とで満足度に大きく差が出たため分けて表示（リファレンスラインも学内のグレーは国内学生と留学生それぞれの平均値）。

国内学生の語学教育・語学支援および留学・国際交流支援への満足度が低い。ポータルサイトの不満回答率が33.3%と他項目よりも高い。（2024年度CLアンケートでも1-3年生全体で44.8%が不満回答）

2024年度の全国平均値と比較すると、教員、友人関係、窓口対応、キャンパス環境において本学は5ポイント以上高い満足度となっている。

9. 最終満足度

【Q-9】大学教育や学生生活全体に対する最終的な満足度をお聞きます。次の各項目に対する満足度について、当てはまるものを選んでください。



環境、施設、制度、支援等に対する自由記述

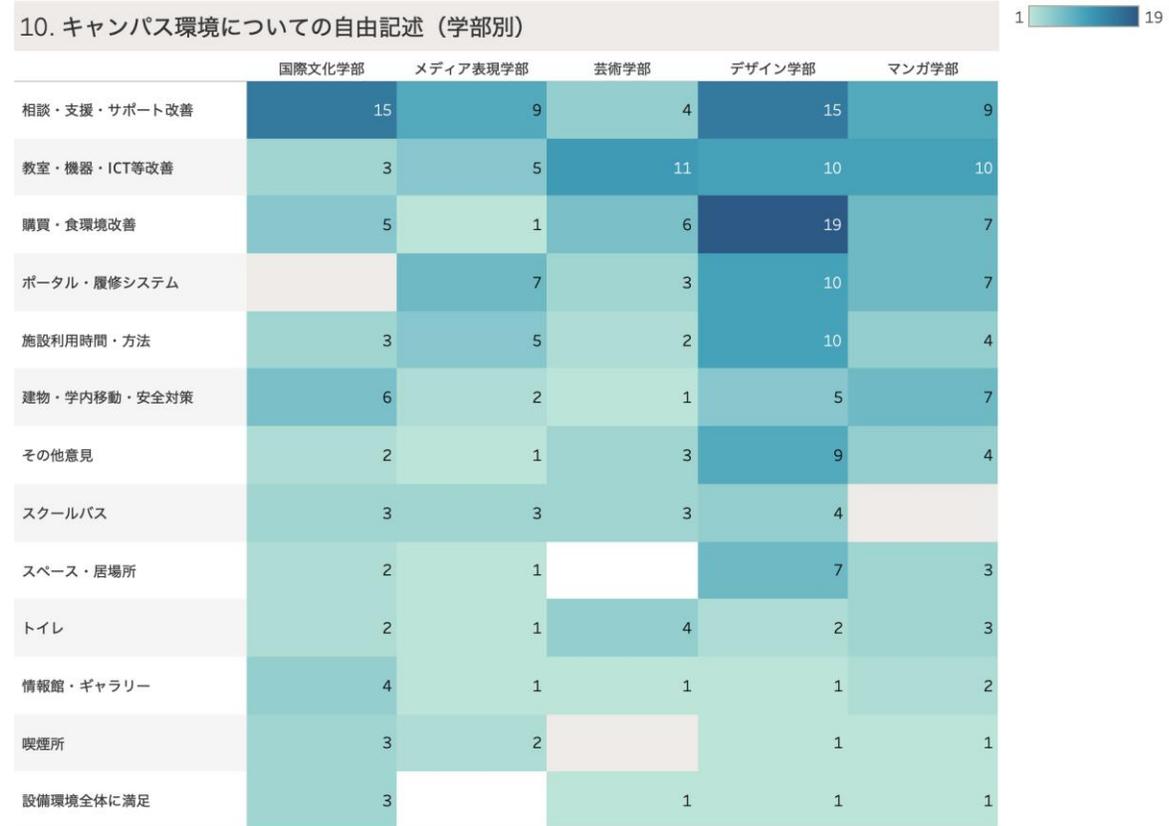
【Q-10】キャンパス環境、施設設備、学内制度、学生支援対応等に対するご意見があれば、具体的に記載してください。

自由記述に回答した学生の回答のみが対象。内容を分類しラベリング。

複数の分類項目に触れている場合は2件に分割しているため、回答者が1名でも複数項目にカウントされていることがある。

全学で見ると、「相談・支援・サポート」に関する記載が19.2%と最も多く、次いで「教室・機器・ICT等改善」(13.4%)、「購買・食環境改善」(13.1%)が続く。

学部別では傾向が異なる。(詳細な自由記述一覧は学内資料で別途共有。)



学修時間、進路、納得度

*リファレンスラインは、ポジティブ回答（青色、水色）の全学平均値を示す。グレー実線=2024、グレー点線=2023、オレンジ実線=全国他大学2024（比較可能な項目のみ、2024年度GPS-Academic 4年生アンケートより）

4年生の週あたりの自習時間は、2024年度キャンパスライフアンケートで確認した1-3年生よりも全学部大きく上がり、特に制作系学部では10時間以上と回答した学生が4~6割おり、卒業制作に相当の時間がかかっていることがうかがえる。

専門と進路の関係性は学部によって特徴が大きく異なる。

所属学部学科の推奨度は全学で昨年度と同数値の82.5%で全国他大学の4年生平均値より4.4ポイント高い。

95.8%の学生が入学して良かったと回答（前年度95.5%）し、全国他大学の86.8%と比較しても大学への入学納得度は非常に高い。

8. 週間自習時間

【Q-8】あなたの現学年での週あたりの自習時間（大学の授業時間以外で、授業の調べ物や復習、課題作成、自主的な勉強など）について、あてはまるものを選んでください。



(参考) 週間自習時間 (2024年度CLアンケートより1-3年生)



- 8:
- 9_自習はしていない
 - 8_1時間未満
 - 7_1~2時間未満
 - 6_2~3時間未満
 - 5_3~4時間未満
 - 4_4~5時間未満
 - 3_5~7時間未満
 - 2_7~10時間未満
 - 1_10時間以上

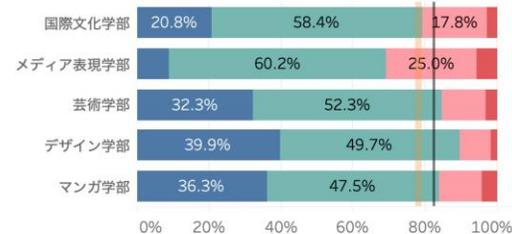
10. キャンパス環境についての自由記述

【Q-10】キャンパス環境、施設設備、学内制度、学生支援対応等に対するご意見があれば、具体的に記載してください。

※別シートで集計結果表示

11. 所属学部学科推奨度

【Q-11】あなたは、知人や後輩などにあなたが所属する学部学科の入学を勧めたいと思いますか？



11:

- 4_まったく勧めたくない
- 3_あまり勧めたくない
- 2_どちらかといえば勧めたい
- 1_とても勧めたい

12. 推奨度自由記述

【Q-12】Q-11で選んだお勧めの理由を具体的に教えてください。

※別シートで集計結果表示

13. 専門領域と進路

【Q-13】あなたが本学で学んだ専門分野と卒業後の進路との関連について、最も当てはまる、または近いものを選んでください。

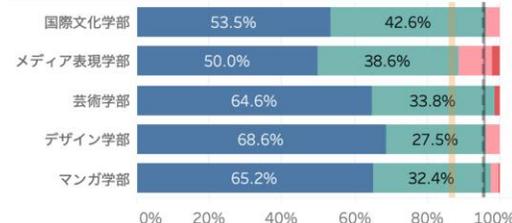


13:

- 6_就職活動中または進学準備中、その他
- 5_進学等就職以外の進路を希望しており、進路先を決めた
- 4_専門分野と関係のない職業を希望しており、就職を決めた
- 3_専門分野と直結した分野にはこだわっておらず、就職を決めた
- 2_専門分野と直結した職業を希望していたが、専門以外の職業への就職を決めた
- 1_専門分野と直結した職業を希望しており、専門に直結した職業への就職を決めた

14. 入学納得度

【Q-14】あなたは、京都精華大学に入学してよかったと思いますか？



14:

- 4_まったくそう思わない
- 3_あまりそう思わない
- 2_どちらかといえば思う
- 1_とても思う